

「レイモンド・カーヴァーの作品における男性性の危機」

20 世紀のアメリカを代表する作家の一人であるレイモンド・カーヴァーは、1960 年代から 1980 年代にかけて主に短編小説を執筆した。彼の作品の中の男性たちは自らが直面する問題を解決することが出来ない。そして、彼らの行動が夫婦関係や家族関係の破綻へと繋がっていく。カーヴァーは、男性が日常生活において感じる孤独、憂鬱、無意味さを描いているが、感情表現を排除した極端に短く簡易な表現を使用する手法のために、彼の作品は、読者に曖昧な印象を与える。

20 世紀のアメリカ社会は、公民権運動や反戦運動などを通して劇的に変化し、新しい男性としての役割が求められるようになった。しかし、カーヴァーの作品の男性たちは、このような新しい社会に適応できずにもがいているようである。

本論の主旨は、作品に登場する男性たちが感じるぼんやりとした不安の原因とその背後にあるものを、男性としての役割の変化に関連して考察することである。

第三章では、David Riesman、Philip Wylie、Erik Erikson が展開した議論を基に、産業化によって変化したアメリカ社会における男性性の変化について概観する。Riesman は、画一化、大衆文化、消費主義の影響でアメリカ社会が「内的指向型」から「他人指向型」へ変化したと述べている。このような変化は、伝統的な男性性の価値観である個人主義、独立性、活動性を否定することとなり、男性は新しい価値観の獲得に苦しむことになる。また、Wylie と Erikson が指摘するように、アメリカの父親不在の状況と母親による息子の教育が伝統的な男性性を喪失する結果となっている。

次に、1960 年代以降の市民運動から発展した反戦運動、同性愛者解放運動、女性解放運動が、アメリカの伝統的価値観を大きく揺るがす結果となった点について触れる。反戦運動は伝統的価値観を否定する若者を生み、若者たちは同じような服装に身を包み、その結果、外見による男女の相違が曖昧になった。また、同性愛者開放運動は男性のイメージを益々複雑にした。さらに、女性の社会進出が進み、女性が職場でも家庭でも主導権を握るようになったことも男性性を脅かす原因となった。これら社会の変化による新しい男性の役割と、男性たちに根強く残る伝統的な男性性への憧れとのギャップが及ぼす男性たちの心理的影響について言及する。

第四章では、カーヴァーのいくつかの作品から、男性たちの非男性的な側面を観察し、彼らの心理上の問題を明らかにする。

最初に、“They’re Not Your Husband”の主人公 Earl について、彼の行動の中にある「他人指向型」と「内的指向型」の要素を観察し、彼の不完全性や不合理性について考察する。

次に、“Everything Stuck to Him”、“So Much Water So Close to Home”、“Tell the Women We’re Going”の三作品から、男性たちの抑圧された感情の原因を探る。男性たちは、実生活からの逃避と男性性の証明のために、狩猟や釣りに執着する。彼らの現実逃避や男性的活動への執着が、彼らの非人間的行為や暴力とどのように関連しているかについて考察する。

“Boxes”では、主人公が示すエディプスコンプレックス的な要素を明らかにし、男性のアイデンティティ確立に影響を与えている母親の影響について考察する。

さらに、父子関係がテーマとなっている“Nobody Said Anything”、“The Compartment”、“Sixty Acres”では、男性モデルとしての役割を果たせない父親たちの姿を通して、父子関係の希薄さの影響について探る。本来、息子は父親を身近な男性のモデルとし、父親と同一化することで男としてのアイデンティティを獲得していくが、これら三作品に登場する父親たちは皆、男としてのモデルとなることに失敗している。父親たちの失敗が、息子たちと彼ら自身に及ぼす心理的影響について言及する。

最後に、“Neighbors”、“Preservation”、“The Father”の三作品を取り上げ、男性たちのアイデンティティについて考察する。“Neighbors”の主人公 Bill は隣人の Jim の所有物を使用することで Jim との同一化を図り自らの男性性を増強する。また、“Preservation”の Sandy の夫は、現代社会から逃避し、発見された 2000 年前の古代人の遺体との同一化を図る。“The Father”の父親の描写は、家族との関係の希薄さや自己喪失の表象である。ここでは、彼らの行動や表情がアイデンティティ混乱の具現であることを説明する。

以上の作品分析により、次の結論が導き出せる。カーヴァーの男性たちは、一見、人生が順調に言っているような男性たちであっても、皆心理的問題を抱えている。そして、彼らの心理的問題の根幹は男性性が証明出来ないことによるフラストレーションである。そのフラストレーションが、非男性的行動や、歪んだ形の不健全な男性的行動を生むと考える。

カーヴァーの作品の男性たちは、当時のアメリカで生活しているようなごく普通の人間である。これは、彼らの感情が特別なものではなく、誰もが持ちうるものである事を意味する。カーヴァーは 20 世紀のアメリカが抱える男性たちの心理的問題—非人間性、暴力、逃避主義、自己崩壊—を伝えようとしているのである。